

「大空町簡易水道事業経営戦略」概要版

1. 「経営戦略」策定の目的

- ① 経営戦略は、水道事業が将来にわたって事業を継続していくための基本計画です。
- ② 中長期的な視点で経営基盤の強化を図るため、総務省通達により、平成32年までの策定を求められています。
- ③ 大空町簡易水道事業の現況と課題を踏まえ、今後目指すべき方向性と実現可能性の高い施策を整理・抽出し、大まかな事業計画と財政検討を行うものです。

2. 計画期間

経営戦略の計画期間は、平成31年度から平成40年度までの10年間とします。

3. 大空町簡易水道事業の概要と課題

大空町は、平成18年に女満別町と東藻琴村の合併により誕生したそれまでの施設、システムを引き継いでいます。そのため、大空町簡易水道事業は、女満別本町地区、女満別高台地区および東藻琴地区の3つの簡易水道事業で運営されています。それぞれに創設、拡張の経緯がありますが、現在の計画緒元、施設概要は以下のとおりです。

表1 大空町簡易水道事業の概要

施設名	最近認可年月日	計画給水人口(人)	給水区域内現在人口(人)	現在給水人口(人)	計画一日最大給水量(m ³ /日)	平成29年度実績	
						取水箇所(実績)	原水の種別
女満別本町	H11.4.7	5,000	4,374	4,291	3,125	4	深
女満別高台	H12.4.4	1,000	617	465	625	3	深
東藻琴	H14.4.16	2,800	2,258	2,204	2,517	2	湧
計		8,800	7,249	6,960	6,267	9	-

実績1日最大給水量(m ³ /日)	実績1人1日最大給水量(L/人・日)	実績年間給水量(m ³ /年)	実績年間有収水量(m ³ /年)	有収率(%)	職員数(人)	技術管理者	
						有資格者(人)	専兼任等の別
1,932	450	555,698	444,532	80.0	7	1	兼・併
356	766	80,223	46,974	58.6			
2,042	926	584,807	378,953	64.8			
4,330	622	1,220,728	870,459	71.3	-	-	-

大空町簡易水道事業の課題を整理すると以下のとおりであり、それらを効率的に解消していくことを目指す必要があります。

- ① 分散化したままの各簡易水道事業
- ② 管路施設の老朽化
- ③ 水源水質による維持管理の相違
- ④ 水道料金格差
- ⑤ 人口減少に伴う施設利用率の低下と施設統合の必要性

4. 大空町簡易水道事業の水需要の見通し

大空町では、合併前の昭和30年をピークに人口減少が続いており、給水人口、有収水量等の実績より、将来の水需要量を予測すると以下のとおりとなります。

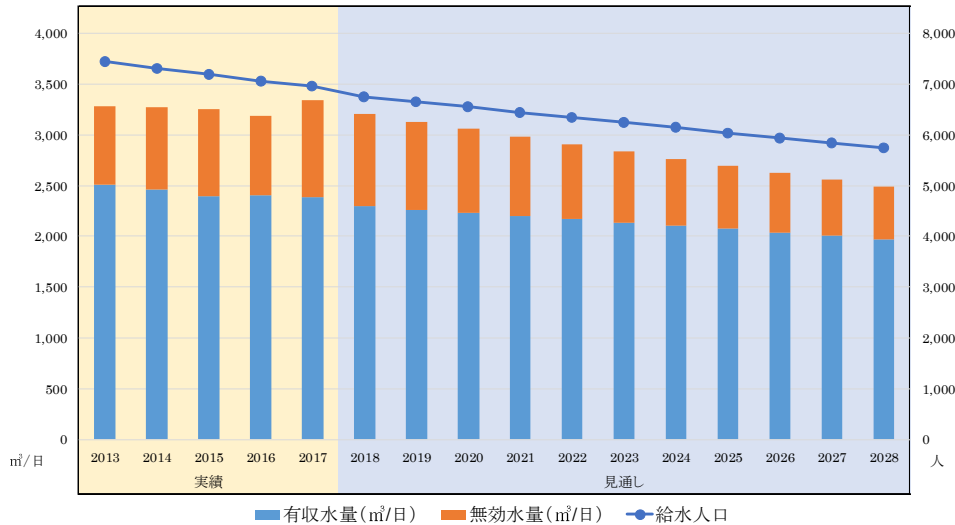


図1 水道事業の現況

5. 大空町水道事業の経営比較分析

大空町簡易水道事業は法非適用となっており、類似団体区分D2に分類されます。

「経営比較分析表」より全国および道内の類似団体との比較を行うと以下のとおりです。

- ① 企業債残高対給水収益比率が低く、更新事業不足の懸念
- ② 料金回収率が若干高く、経営改善傾向
- ③ 施設利用率がやや低い

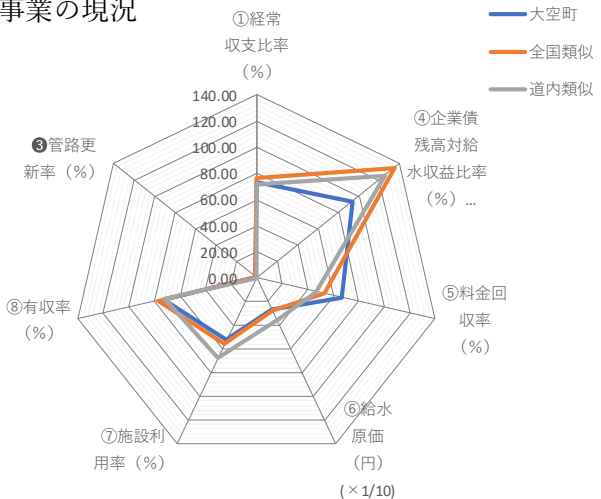


図2 経営比較分析結果

一方、大空町に隣接する近隣水道事業体と経営比較すると、以下のとおりとなります。

- ① 水源水質が悪いいためか給水原価が最も高く、改善の余地がある。
- ② 有収率および施設利用率が低く、施設の共同利用を検討する必要がある。

表2 近隣水道事業体との経営状況比較

類型 水道事業 簡易水道	給水人口 (人)	1. 経営の健全性・効率性							2. 老朽化の状況			備考	
		※①経常 収支比率 ①収益的 収支比率 (%)	②累積 欠損金 比率 (%)	③流動 比率 (%)	④企業債 残高対給 水収益比 率 (%)	⑤料金回 収率 (%)	⑥給水原 価 (円)	⑦施設利 用率 (%)	⑧有収率 (%)	①有形固 定資産減 価償却率 (%)	②管路 経年 化率 (%)		③管路更 新率 (%)
網走市	34,682	125.49	0.00	102.68	635.78	119.50	200.14	59.73	81.22	46.45	52.18	0.41	A5
美幌町	19,172	119.90	0.00	343.84	448.70	114.93	173.93	55.27	88.17	57.66	5.14	0.40	A6
大空町	7,063	72.89	—	—	934.55	67.04	269.28	52.58	72.98	—	—	0.86	D2
小清水町	4,768	75.85	—	—	813.89	70.89	230.71	44.04	84.25	—	—	0.00	D3

※①経常収支比率は、(網走市A5、美幌町A6)、①収益的収支比率は、(大空町D2、小清水町D3)。

6. 大空町簡易水道事業の目標と具体的方策

大空町簡易水道事業は、「清浄で低廉な水の安定供給と持続的経営」を実現し、大空町を下支えすることを目指しています。

そのための実現方策を「持続」「安全」「強靱」および町民との「協働」に分類し、その実施工程は以下のとおりとなります。

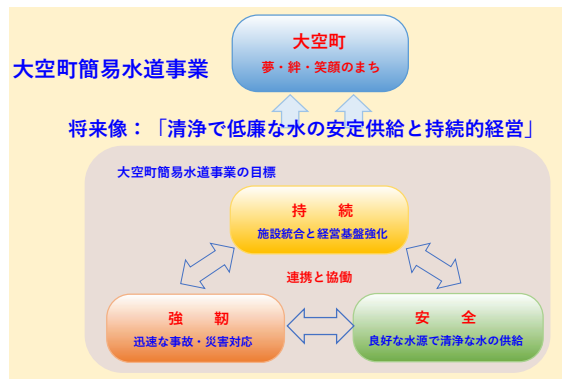


図3 将来像のイメージ

表3 目標設定と実現方策

分類	実現方策			実施工程												
	項目	実施内容	優先度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029以降	
持続	事業運営効率化	施設の見直し縮小・統廃合計画	最優先	■	■											
	効果的整備計画	漏水・事故多発路線の解消	最優先	■	■											
		人口減等を反映した適正な給水区域設定	課題												■	
	施設の高水準化	水道管路整備事業による老朽管更新	優先				■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		水道施設更新整備事業による機器更新	優先								■	■	■	■	■	
	情報管理の高度化	管路台帳システムの活用	優先			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		設備台帳システムの整備、活用	優先			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
経営基盤の強化	資金・財政計画の策定	最優先	■							■						
	広域連携・清浄な水源確保協議	最優先	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
	料金水準の適正化見直し	優先												■		
安全	施設管理の適正化	導・送水管路、配水池等計画見直し	最優先	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		新たな水源確保と浄水施設見直し	優先												■	
		緊急時給水確保に向けた施設整備検討	課題												■	
		施設管理マニュアルの作成	課題												■	
強靱	老朽施設の修繕と更新	計装設備更新	最優先			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		配管網見直し・ダウンサイジング検討	優先			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		配管網のネックポイント解消	優先								■	■	■	■	■	
		耐用年数・機能劣化に応じた修繕更新	優先								■	■	■	■	■	
	耐震対策等の実施	給水拠点の設定・確保	最優先	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
災害対策	重要給水施設管路の更新時耐震化	優先												■		
	広域・官民連携による応急体制の確立	優先												■		
協働	住民ニーズの把握	迅速な対応と顧客満足度の向上	課題											■		
	積極的な情報開示	広報による情報提供	継続	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
		経営戦略等のHP掲載	最優先	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		

青字：既に実施済みもしくは継続していると思われる方策

黒字：今後10か年で検討もしくは更新投資する方策・事業で最優先、優先に分類

赤字：将来の課題と思われる方策

7. 今後の検討課題と財政収支検討結果

大空町は、これまで良好な水源水質を求めて新たな地下水源の可能性を調査してきており、現在も継続中であります。しかし、「水道法」改正を受けて広域連携および官民連携の推進を求められこととなり、急遽、広域連携の可能性を模索することも必要となってまいりました。現時点では広域連携については未協議であり、新水源については未定となっています。

そこで、平成30年度「東藻琴地区新規水源調査」業務において示されているこれまでの調査・継続案について平成40年度までに整備する計画として投資・財政検討を行いました。結果は表4、図5に示すとおりとなっています。

【前提条件】①既設老朽管路の更新事業費（50 百万円／年）を継続する。

②平成 33 年度から平成 39 年度まで調査・整備を実施する。

〔ただし、今後、関係機関との協議を行い、新水源の方向性が確定次第、事業方針および投資・財政計画を見直す予定です。〕

表 4 10 年間の投資・財政収支検討条件と結果

年度	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
給水人口(人)	6,646	6,548	6,446	6,345	6,244	6,141	6,039	5,938	5,838	5,737
料金収入	149	147	145	143	141	138	136	134	132	130
更新工事	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
取導送配施設整備	0	0	64	704	697	697	702	705	651	0
基準外繰入金(A)	5	6	10	8	7	10	14	32	48	48
A÷有収水量(円/m ³)	5.7	7.8	12.0	9.5	8.9	13.1	18.2	42.6	65.2	67.1

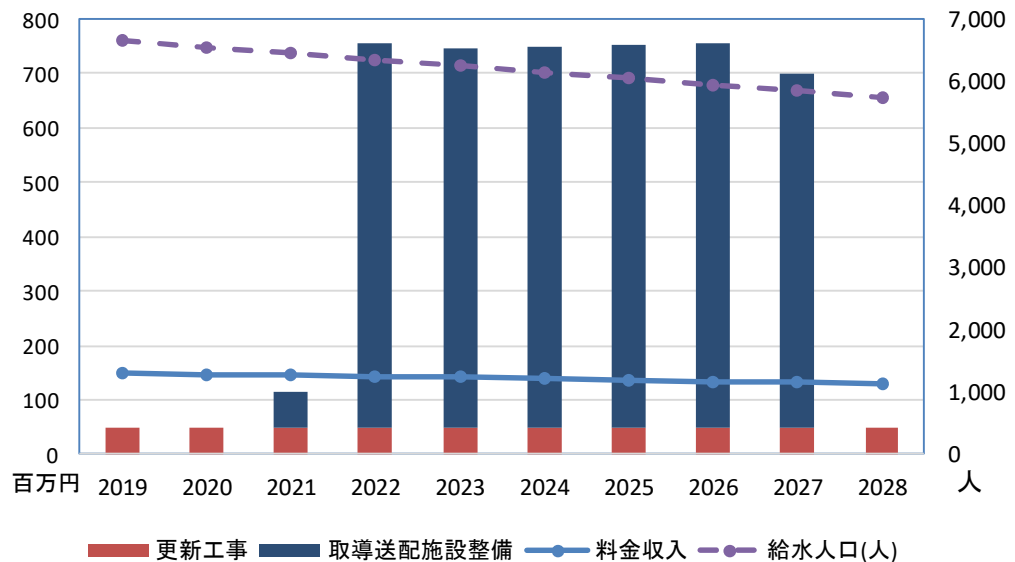


図 5 財政収支検討結果

8. 「経営戦略」の継続的検証

大空町は、良好な新規水源を確保することで女満別・東藻琴両地区の格差解消を図りつつ、人口減少に応じた効果的な事業見直しと平準化を実施して経営基盤強化を目指します。そのため、PDCA サイクルによる事業の見直し改善と効果的な整備を推進します。



図 6 PDCA サイクルイメージ図